

新たに生まれる壁画・輝く世界の未来創り 一過・現・未一

メキシコ移住125周年記念、日本メキシコ学院(リセオ)45周年記念を祝ってリセオの外壁(横90m×縦3m)に小学、中学、高校生が心を合わせて制作する合同壁画制作の監修として要請を受ける。

2022年8月29日、新しい壁画の誕生。

過・現・未の世界をメキシコの象徴である鷲の背に背負って希望ある未来へと飛翔していく。

メキシコ・アルバロオブレゴンの春
壁画 「ZEROの誕生」



画家：児童絵画心理研究家
西森 禎子

アステカ文明の聖地に生命の始源を追求し、生命の誕生に光をみる。



門の両側に広がる壁画



壁画制作中の様子



日本の天照大御神とメキシコの太陽神が合体。左右に分かれて過去・現在を見つめる制作。

だるまさんにケツアルコアトルが巻き付いて幸せをよんでいる。

* 聖都テオティワカンのケツアルコアトルは、人類に火をもたらした神であるがゆえに太陽神としても崇められていた。「羽毛のある蛇」の姿、人々に文字を授ける平和と農耕の創造神である。



足場が高い
ところで
ファイト！

メキシコ・アルバロオブレゴンの春へ

アルバロオブレゴンにある女性保護施設の壁画(20m×3m)

西森先生は2022年8月18日から渡墨して、3週間滞在し、情熱をもってご指導されました。小中高校生とは表情で心が通じたそうです。素晴らしい合作壁画の完成おめでとうございます。

岡 洋子